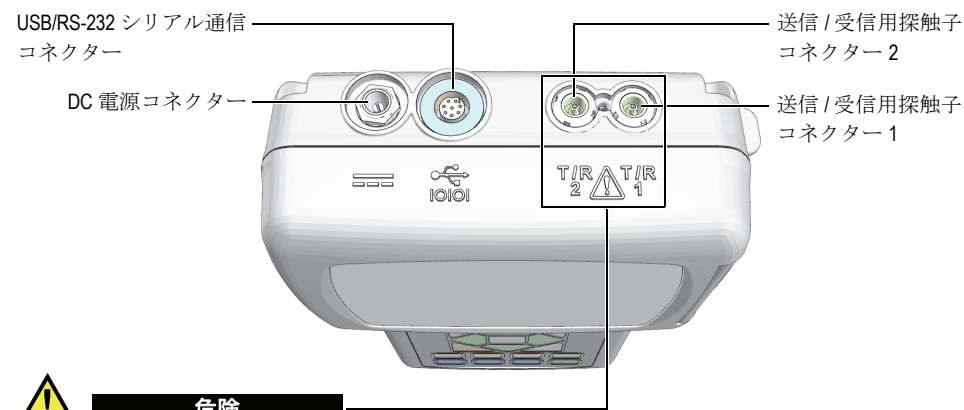
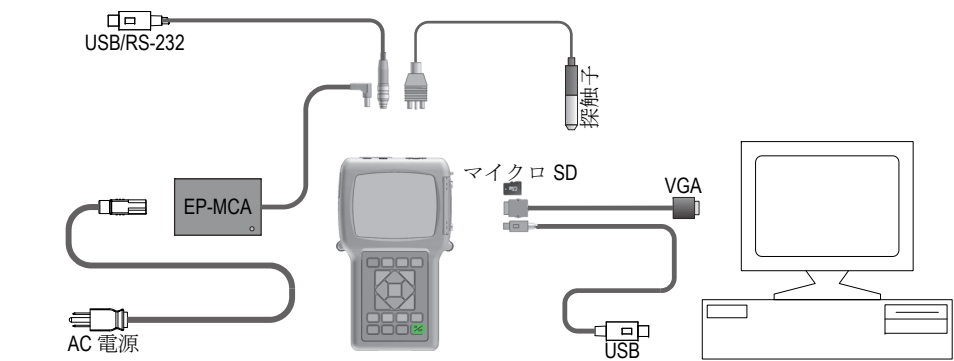
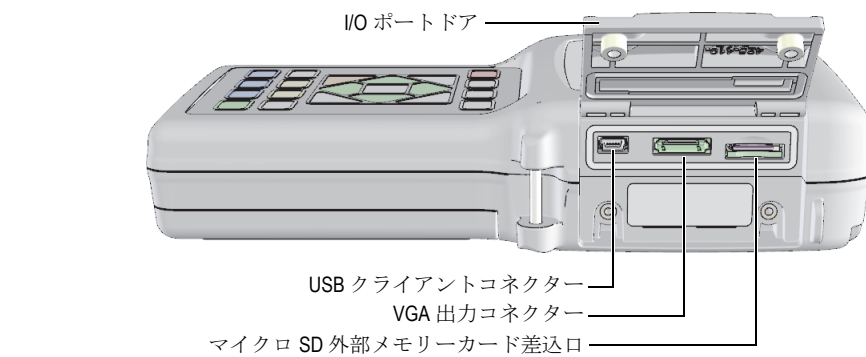


接続



危険
コネクタ T/R 1 と T/R 2 の内部導体に触れないようにしてください。内部導体には最大 200 V の電圧がかかっているため、感電する恐れがあります。

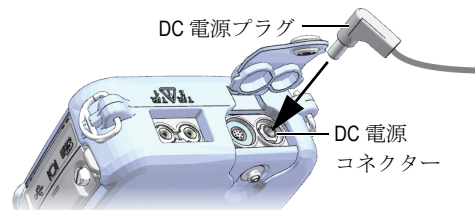


重要

出荷時にバッテリーはフル充電されていません。必ずバッテリーをフル充電してから 38DL PLUS の操作を開始してください。

バッテリーの充電方法

- 38DL PLUS 本体
 - DC 電源コネクタのゴム製カバーを持ち上げます。
 - EP-MCA チャージャー/アダプターの DC 電源プラグを DC 電源コネクタに接続します。
- AC 電源コードを EP-MCA チャージャー/アダプターに接続し、適切な AC 電源に接続します。
- キーパッドの **⏻** を押します。
38DL PLUS に接続中、EP-MCA チャージャー/アダプターは、内部バッテリーの充電を行います。



警告

38DL PLUS チャージャー/アダプター (P/N: EP-MCA [U8767042]) は、38DL PLUS のバッテリー (P/N: 38-BAT [U8760054]) 専用です。EP-MCA で他のバッテリーの充電を行ったり、38DL PLUS の充電に他のチャージャー/アダプターを使用しないでください。爆発や人身事故の原因となる可能性があります。他の電子機器への電力供給あるいは充電に EP-MCA チャージャー/アダプターを使用しないでください。爆発による死亡事故あるいは重大な人身事故の原因となる可能性があります。

バッテリーの交換

- EP-MCA チャージャー/アダプターを厚さ計から取り外します。
- 厚さ計の電源を切ります。
- ゴム製保護ケースを取り外します。
- マイナスのドライバーを使って、背面のバッテリーカバーを固定している 4 つのネジを緩めます。
- バッテリーカバーを取り外します。
- バッテリーをコネクタから外します。
- バッテリーを取り外します。
- 別の 38-BAT バッテリーをバッテリーコンパートメントの所定の位置に入れます。
- バッテリーコンパートメントのガスケットが、清浄で適切な状態であることを確認します。
- バッテリーカバーを元の位置に戻し、ネジを締めます。
- キーパッドの **⏻** を押し、厚さ計を起動します。
- 「**新バッテリータイプ?**」と表示されたら、38-BAT バッテリーを使用する場合は、**リチウムイオン** と選択し、ニッケル水素充電式乾電池やアルカリ乾電池を単三乾電池ホルダーに入れて使用する場合には**ニッケル水素**もしくは**アルカリ**を選択します。
- [ENTER]** を押します。

危険

使用直後の交換は、バッテリーが熱くなっている可能性がありますのでご注意ください。交換の充電式バッテリーには必ず専用の 38-BAT バッテリーを使用してください。爆発や人身事故の原因となる可能性があります。また、装着時バッテリーの向きにもご注意ください。

D79X 二振動子探触子を使用するには

- 探触子を厚さ計の上部にある探触子コネクタに接続します。
- ⏻** を押して厚さ計の電源を入れます。
- 探触子の先端に付いている接触媒質を拭き取った後、**[2nd F]**、**[ゼロ校正]** (**ゼロ校正実行**) を押します。以上の操作で、標準付属品のテストブロック (鋼) の材料音速を初期設定値として、厚さ測定を開始する準備が完了です。

一振動子型探触子を使用するには

38DL PLUS には、購入された探触子に合わせた初期設定が入っています。この設定は、標準付属品であるテストブロック (鋼) の材料音速を初期設定値として使用しています。

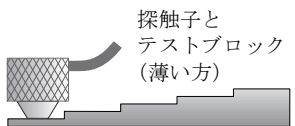
- 探触子を探触子ケーブルに接続した後、ケーブルを厚さ計の上部にある T/R 1 コネクタに差し込みます。
- ⏻** を押して厚さ計の電源を入れます。
- [設定呼出]** を押します。
- メニューで、**デフォルト一振動子** を選択します。
- デフォルト一振動子** 画面の**セットアップ選択**一覧で、使用中の探触子に対応するセットアップを選択した後、**[ENTER]** を押します。
- 必要ならば、探触子設定のパラメータを編集してから、**[測定]** を押します。以上の操作で、標準付属品のテストブロック (鋼) の材料音速を初期設定値として、厚さ測定を開始する準備が完了です。

厚さ計を校正するには

実際の試験体で精密な厚さ測定を行うには、38DL PLUS を校正する必要があります。これには、厚さの判っているテストブロック (例: 試験体と同じ材料の 5 段階標準試験片など) を用い、音速校正とゼロ校正を行います。

- テストブロック (厚い方) の表面に接触媒質を塗布します。
- テストブロック (厚い方) の上に探触子を当てます。
- [音速校正]** を押します。
- 測定値が安定したら、**[ENTER]** を押します。
- 矢印キーを使い、既知の厚さ値を入力します。
- [ゼロ校正]** を押します。
- テストブロック (薄い方) の表面に接触媒質を塗布します。
- テストブロック (薄い方) の上に探触子を当てます。
- 測定値が安定したら、**[ENTER]** を押します。
- 矢印キーを使い、既知の厚さ値を入力します。
- [測定]** を押します。

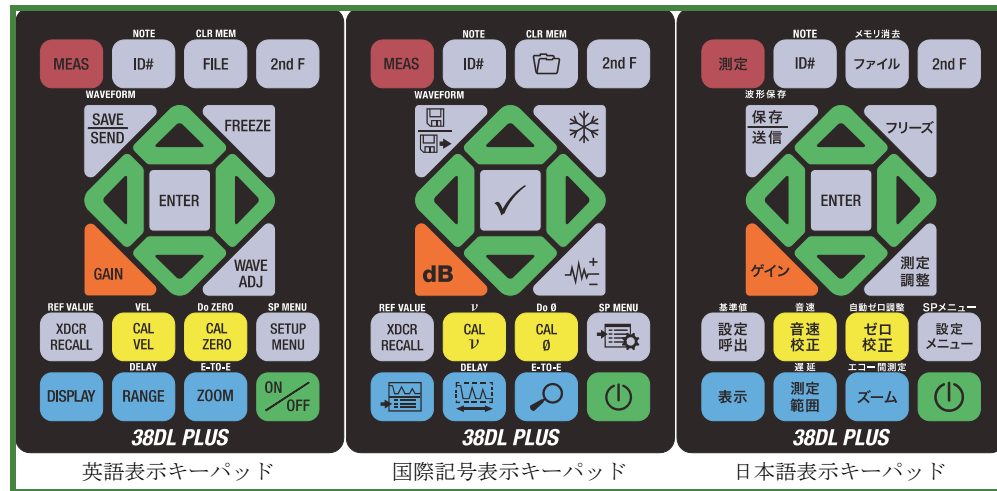
参考: 校正についての詳細と特別用途に対し最適な探触子を選択するための情報は、**38DL PLUS 超音波厚さ計 - ユーザーズマニュアル (P/N: DMTA-10004-01JA)** を参照するか、Evident までお問い合わせください。



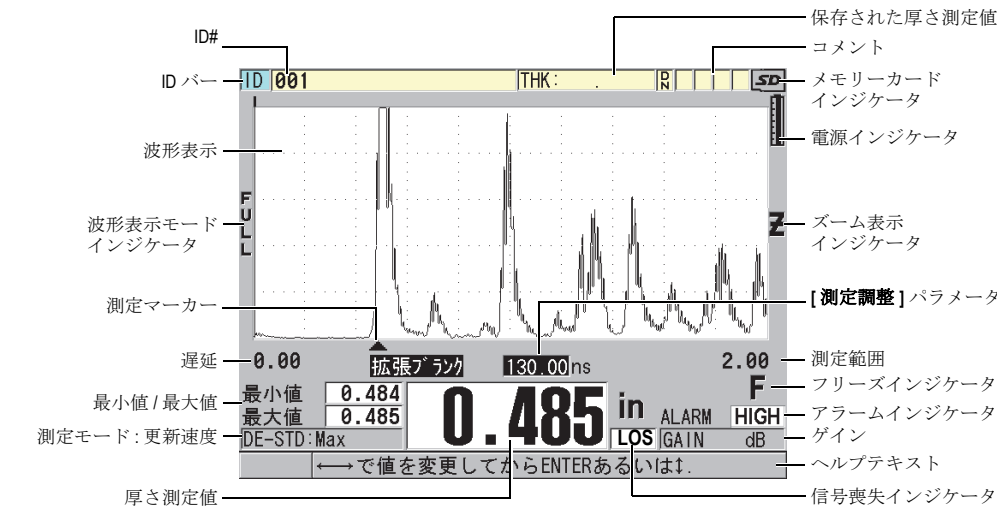
キーパッドの機能

38DL PLUS 厚さ計には、英語表示、国際記号表示、日本語表示のキーパッドがあります。これらのキーパッドの機能は、すべて同じです。国際記号表示キーパッドのキーのテキストラベルの多くは、絵文字で表示されています。38DL PLUS 厚さ計のユーザー対象の文書では、キーパッドのキーは、太字（英語、日本語）で括弧内に示しています（例：[**ファイル**]）。

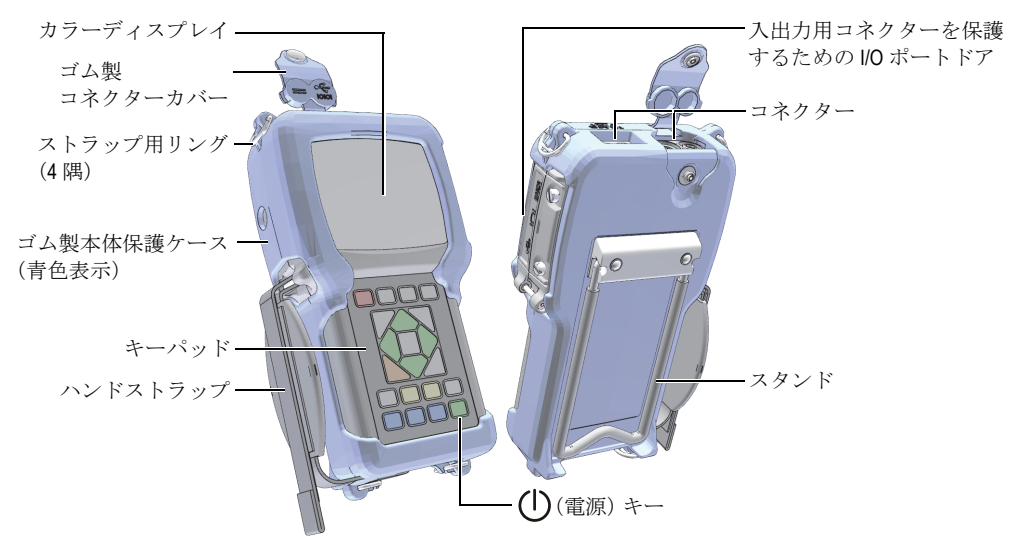
各キーは、その主な機能を指しています。キーの中には、上部にセカンドファンクション（2nd F）機能が表示されているものがあります。[**▲**], [**▼**], [**◀**], [**▶**] および [**ENTER**] キーは、メニュー項目や画面上のパラメータの選択やパラメータ値の変更に使用します。[**測定**] キーを押せば、いつでも測定画面に移動することができます。



測定画面



厚さ計本体の外観図



EVIDENT™

操作開始ガイド 38DL PLUS 超音波厚さ計

使用目的

38DL PLUS は、工業用途およびメンテナンス用途で材料・製品などの厚さ測定を目的として設計されています。38DL PLUS をこれらの目的以外で使用しないでください。

取扱説明書

本取扱説明書には、38DL PLUS の使用開始に関する説明が記載されています。38DL PLUS 超音波厚さ計 — ユーザーズマニュアル (P/N: DMTA-10004-01JA) には、38DL PLUS 厚さ計を安全にかつ効率的に使用する方法に関する全体的かつ重要な情報が含まれています。ご使用前に、必ずユーザーズマニュアルをお読みになり、ユーザーズマニュアルの指示に従い製品を使用してください。ユーザーズマニュアルは、いつでも参照できるよう安全な場所に保管してください。

警告表示



危険

この記号は、正しく実行または守られなければ死亡あるいは人体に深刻な損傷を負わせる切迫した危険な状況をもたらす可能性がある手順や手続きであることを示しています。



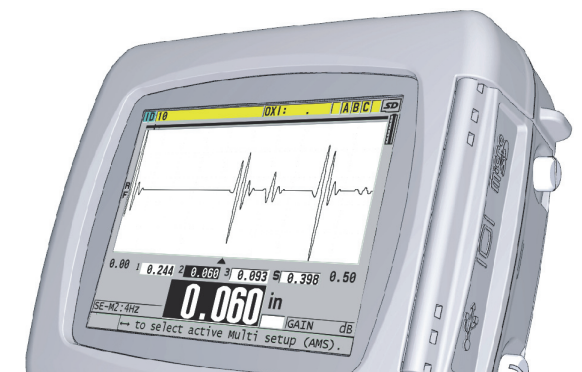
警告

この記号は、正しく実行または守られなければ死亡あるいは人体に深刻な損傷を負わせる可能性がある手順や手続きであることを示しています。



注意

この記号は、正しく実行または守られなければ中程度以下の障害、特に機器の一部あるいは全体の破損、あるいはデータの喪失につながる可能性のある手順や手続きなどに注意する必要があることを表しています。



EVIDENT SCIENTIFIC INC.,
48 Woerd Avenue, Waltham, MA 02453, USA
EvidentScientific.com

Printed in the United States of America • © 2022 by Evident. 無断複写・複製・転載を禁じます。
本取扱説明書に記載の社名や製品名は、各所有者の商標または登録商標である可能性があります。

DMTA-10010-01JA [U8778358] Rev. B



55% 再生紙、30% 使用済み古紙を使用しています。